

生活科学習指導案

平成23年12月2日(金)第5校時(13:55~14:40)

玉村町立南小学校 1年2組 指導者 小見 朋子

1 単元名 あきとあそぼう

授業の視点

おもちゃを見直す場面で、話し合いが滞っているグループに対して、園児の遊びの様子や園児の作ったおもちゃ、園児が南小に来るにあたって心配していることを紹介したことは、秋のおもちゃをより楽しく工夫するために有効であったか。

2 単元の考察

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領学年の目標(2)「自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。」(4)「身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにする。」を受け、内容(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに気付き、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」に基づいて設定されたものである。

児童は、これまでに大単元「なつだ いっしょにあそぼうよ」で、草花や樹木、虫などの動植物の様子を観察したり、草花や樹木を使って工夫して遊んだりすることを通して、季節を感じ、夏の動植物の色や形などの特徴などに気付くことができた。

本単元では、夏に訪れた公園に秋に再度訪れ、秋の動植物を観察し、秋の自然物を使用しての遊び、そこで感じたことを表現する活動を通して、その楽しさや自然の不思議さ、夏との自然の変化に気付く。自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気付き、自然を大切に、自分たちの遊びや生活を工夫していく。

はじめに、秋の公園に出かけ、夏の公園との変化に気付き、そこにある自然物を利用して、自然に浸る活動を行い、自然の不思議さ、夏との自然の変化に気付く。

次に、学校に持ち帰った自然物を使って、友達と工夫しておもちゃを作る活動を通して、身近な自然や人とのかかわりを深められるような学習を行う。クラスや学年で、幼稚園児や保育園児を招待するなど、遊ぶ相手を変えて繰り返し活動を行うことにより、見つけた秋が工夫次第で楽しいおもちゃになることや、友達と一緒に遊ぶことの楽しさや、自分や友達のよさに気付くことができる。

これらの学習を通して、身近な自然に触れ、体全体で自然に浸って遊んだり、それらを使って工夫して遊んだりする中で、遊びの面白さや自然の不思議さ、季節の変化に気付き、遊びや生活を楽しむことができると考え、本単元を設定した。

(2) 系 統

1年 生活科

○きれいにさいてね たくさんさいてね(5月~9月)

・植物を、大切に、継続的に育てることを通して、それらの変化や成長の様子に気付くとともに、それらに親しみを持ち、適切に世話を続ける。

○なつだ いっしょにあそぼうよ(6月~7月)

・夏の公園や校庭で、友達と遊んだり、動植物、水、土、砂などの自然を使用して工夫して遊んだりして、遊びのおもしろさや自然の不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しんだり、自分たちの生活を楽しくしたりするとともに、公園や校庭でみんなで使うものがあることが分かり、安全に気をつけて正しく利用する。

○あきとあそぼう（本単元）（11月～12月）

・身近な自然に触れ、体全体で自然に浸って遊んだり、それらを使って工夫して遊んだりする中で、遊びの面白さや自然の不思議さ、季節の変化に気付き、遊びや生活を楽しむ。

○ふゆをたのしもう（1月～2月）

・冬の校庭や公園で、身近にあるものを使って友達と遊んだり、動植物、風、光、氷などの自然を利用して工夫して遊んだりして、遊びのおもしろさや自然の不思議さ、季節の変化に気付き、みんなで遊びを楽しんだり、自分たちの生活を楽しんだりすることができるのと同時に、みんなで使う校庭や公園を支えている人々がいることが分かり、それらを安全に正しく使う。

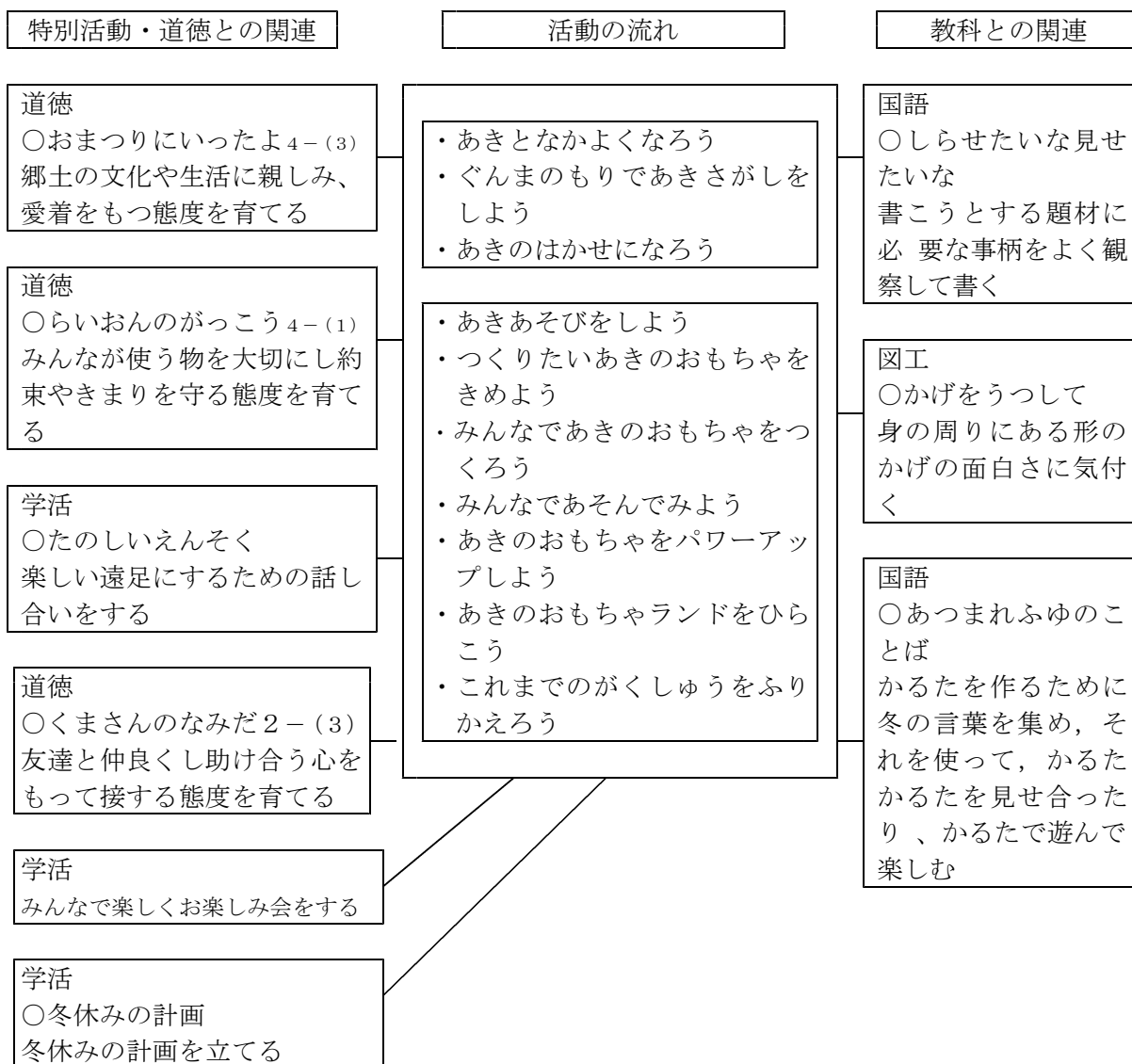
2年 生活科

○おいしくそだて わたしの野さい（5月～10月）

・身近な植物の栽培に関心を持ち、世話の仕方を自分で調べたり、人に聞いたりしながら、大切に世話をする中で、それらに生命があることや成長していることなどに気付くとともに、植物に愛着を持ち、継続的に育てる。

○うごく うごく わたしのおもちゃ（11月）

・身近にあるものを使って動くおもちゃをつくり、友達と競争したり、工夫を教え合ったりしながら、自分なりに改良することを通して、動くおもちゃのおもしろさや不思議さを実感するとともに、遊び方を工夫しながら、みんなで遊びを楽しむ。



(3) 児童の実態（男子11名 女子10名 計21名）

【生活への関心・意欲・態度】

児童はこれまでに草花を使ってアクセサリーを作ったり、昆虫や水辺の生き物などを見つけたりして、身近な自然とかかわる楽しさを体験してきた。また、育てたサツマイモの収穫を祝い、水遊びや七夕飾り作りなど季節の遊びを楽しむ活動を体験してきている。このような体験を通して、児童は身近な植物や生き物に関心をもつようになり「トンボが飛んでいるよ」「カマキリがいたよ」など昆虫の発見を喜んだり、「朝顔が咲いたよ」「サツマイモの葉が大きくなったよ」など育てた植物の成長を期待したりするようになってきている。しかし、季節の変化に伴って、植物や生き物も変化してくることに、なかなか興味を示さない児童もいる。

草花や自然と触れ合い、それらを使って遊び道具を作るのは好きだが自分の思った通りにできないと「できない」と言って涙ぐんだり、自分のやったことに自信がもてず、「先生、これでいいですか」と常に確認しないと次の行動に移れないなど、自ら進んで行動できない児童も見られる。

【活動や体験についての思考・表現】

春の草花遊びでは、花や葉の特徴を考えてアクセサリーを作って遊ぶことができた。その際、「～するといいよ」「～しようよ」など、友達同士で教え合ったりする様子も見られ、遊びも工夫することもできるようになってきている。児童のカードでは、形式的な絵が中心であり、色も見たとおりでなく、好きな色が塗られる傾向があった。「○○があったよ」のような視覚に頼った記述が大部分で、絵だけで描かれたカードも多かった。

また、夏の公園遊びでは、「生き物」「植物」「自然」について自分の興味をもったことに対して詳しく観察し、疑問をもつことができるようになってきている。

このような活動の終わりには、振り返る活動の一つとして楽しかったことや印象に残ったことをカードに表現してきているが、自分の伝えたいことを文章や絵でうまく伝えられない児童も多い。

【身近な環境や自分についての気付き】

入学当時の児童は、虫や花の名前も代表的なものしかわからなかった。事実のとらえ方があいまいなまま絵に描くこともあり、どんな様子だったか尋ねても答えられないことがあった。ほとんどが視覚による事象のとらえ方であった。生活科の学習を行う中で、「草花でいろいろ遊べること」「生き物を見つけたりつかまえたりしやすい場所があること」「春から夏、秋へと季節が移り変わり、自分の生活も変化してきていること」などに気付くことができた児童も見られる。

3 目標

身近な自然に触れ、体全体で自然に浸って遊んだり、それらを使って工夫して遊んだりする中で、遊びの面白さや自然の不思議さ、季節の変化に気付き、遊びや生活を楽しむことができるようになる。

4 評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
・進んで自然と触れ合い、自然の変化や不思議さを感じ取り、遊びや生活を楽しもうとしている。	・自然を利用した楽しい遊びを考えたり、遊びに使うものを工夫したりしている。 ・季節の変化を自分の生活と関連付けて考えている。 ・遊んだことや、遊びを通して楽しかったこと、気付いたことなどを、自分なりに表現したり伝えたりしている。	・自然と触れ合い、楽しく遊しながら、季節の変化や遊びの楽しさ、自然の不思議さなどに気付いている。

5 指導方針

- ・木の実の面白い動かし方や遊び方のコツに気付くように、自分たちで集めた自然物の素材のよさを生かしながら活動に浸れるように、遊びの時間を十分に確保する。
- ・遊びに使うものを工夫して作ることの面白さを実感させるために、試し遊びを繰り返しながらおもちゃの改良に取り組ませる。
- ・活動意欲を持続させながらよりよいおもちゃを作れるように、制作に意欲的に取り組む児童や、工夫改善を繰り返している児童を賞賛していく。
- ・活動が停滞している児童には、もう一度アドバイスカードに戻って考えるように助言し、グループの中でよく相談しながら活動するよう促す。
- ・自分たちのおもちゃや遊び方のルールを改良したり改善したりする視点を持てるように他学級と同じおもちゃのグループの友達と一緒に遊ぶ時間を設ける。その際、感想（よさの認め合い、学び合い、アドバイス）を伝え合う時間をしっかり確保する。
- ・『あきのおもちゃランド』を成功させるために、安全確保に十分留意するとともに、園児の安全を守る立場にあることも含めて児童にも改めて指導を行う。
- ・自分たちの活動を振り返ることができるように、活動の様子や作品を写真で残しておくようにする。
- ・秋探しをして見つけたことや、見つけた秋で遊んで楽しかったことなどを友達に伝えたいという思いや願いを生かし、国語の「書くこと」や「話すこと・聞くこと」の領域と関連させ、表現のしかたを指導していくことにより、気付きの交流をスムーズに行えるようにする。
- ・幼稚園との連携を密に行い、幼稚園の年長児の活動や作品、小学校訪問時の感想の情報収集を行い、必要に応じて、児童に伝えていく。

6 指導と評価の計画（本時は25時間予定：本時はその20時間目）

小単元名	時間	学習活動	具体的評価規準 (評価方法)	△補充的な学習 ◎発展的な学習
1. あきとなかよくなる	1	群馬の森の秋の自然についてのイメージマップを作る。 ・夏に聞こえたせみの声が聞こえなくなっている。 ・葉っぱのが黄色や赤色になっていると思う。 ・どんぐりが落ちていていると思う。	◎秋の自然について夏の様子を思いおこしながら、自分なりに考えて、イメージマップに書いている。(イメージマップ・つぶやき)	△見つけたよメモを参考にし、イメージをふくらませる。 ◎群馬の森の夏の様子を思いおこしながら、夏と秋の関連性に気付き、秋の自然をさらに具体的に考える。
2. ぐんまのもりであきさがしをしよう	3	群馬の森の秋の自然と夏の自然の様子を比較しながら、秋と触れ合う。 ・やっぱりせみの声は聞こえないね。 ・葉っぱの色が赤や黄色になったね。 ・どんぐりがたくさん落ちていている。 ・たくさん葉っぱが落ちていているね。	◎群馬の森の様子に関心をもち、群馬の森の動植物を観察し、みんなで楽しく秋に触れ合おうとしている。(行動・つぶやき・観察メモ) ◎夏から秋になり動植物の様子が変わっていることに気付いている。(行動・つぶやき・観察メモ)	△観察のポイントを参考にし、秋と触れ合う。 ◎なぜ動植物の様子が変わるのかを考える。
3. あきのはかせにな	2	見つけたよカードを書く。 見つけたよカードを紹介し	◎自分が見つけた秋の動植物の様子を見つけ	△観察メモを振り返り、見つけたことを確

ろう	<p>合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変わった形のどんぐりを発見したよ。 ・黄色や赤色、色々な色の葉っぱがあったよ。 ・キリギリスがいたよ。 ・おもしろいもようのどんぐりがあったよ。 	<p>たよカードに書こうとしている。(見つけたよカード)</p> <p>㊦季節の変化の様子や、秋と触れ合ったことを振り返り、紹介している。(見つけたよカード・発言・つぶやき)</p>	<p>認し、見つけたよカードに書く。</p> <p>◎友達に伝えたい秋の様子を友達にわかりやすいように工夫してまとめ、紹介する。</p>
4. あきあそびをしよう	<p>3 群馬の森で集めてきた葉や木の実などで自由に遊ぶ。見つけたよカードを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかどんぐりをころがすと速さがちがっておもしろい。 ・どんぐりを回してこまにしたけど、うまく回らない。 ・どんぐりを入れて鳴らすと楽器みたいになった。 	<p>㊦自分たちで集めた木の実などに関心を持ち、それらを使って楽しく遊ぼうとしている。(行動)</p> <p>㊦秋の自然物の色や形には種類があることに気付いている。(行動・つぶやき・見つけたよカード)</p>	<p>△教師の助言や友達の遊びを参考にして、自分の遊びを考える。</p> <p>◎自分のしている遊びをさらにおもしろくするためにはどうしたらよいか考える。</p>
5. つくりたいあきのおもちゃをきめよう	<p>1 作りたい秋のおもちゃを決める。作りたいおもちゃごとのグループを作る。グループで作りたいおもちゃの絵を描いたり、必要なものを考えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりを転がして、どのどんぐりが早くゴールするか勝負するゲームを作りたい。 ・どんぐりを落としてどこに入るかで勝負するゲームを作りたい。 ・色々な楽器を作ってみんなで遊びたい。 ・マツボックリでけん玉を作りたい。 	<p>㊦集めた秋の自然物の中から、使ってみたいものを選び、どんなおもちゃを作ろうか考えている。(行動・つぶやき)</p>	<p>△前時の遊びを振り返り、おもちゃを作るように考える。</p> <p>◎自分の作りたいおもちゃに何が必要か、どう作ろうか考える。</p>
6. みんなであきのおもちゃをつ	<p>6 グループごとに秋のおもちゃを作る。遊ぶ時のルールも考える。</p>	<p>㊦集めた秋の自然物の中から、使ってみたいものを選び、試したり、</p>	<p>△教師とのやりとりを通して、どんなおもちゃを作りたいのか考え</p>

くろう		<ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりを転がすのに、早く転がるにはどんな板を使えばよいか な。 ・どんぐりごまを作ってよりたくさん回っている方が勝ちというゲームを作りたいから、色々などんぐりでこまを作ってみよう。 	<p>見立てたりして、工夫しながらおもちゃを作っている。(行動・つぶやき・おもちゃ)</p> <p>◎遊びのルールや約束を工夫すると、楽しく遊べることに気付いている。(行動・つぶやき・おもちゃ・ルールカード)</p>	<p>る。</p> <p>◎誰にでもわかるようにルールを文章で表す。</p>
7. みんなであそびみよう	3	<p>クラスでおもちゃを紹介し、遊び合う。</p> <p>クラスを解体し、同じような遊びをしているグループで集まってお互いのおもちゃで遊ぶ。</p> <p>どうしたらさらに園児と一緒に楽しく遊ぶことができるか考え、アドバイスし合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・転がして勝負するのはおもしろいけど、たくさんの人で転がしちゃうとどれが自分のどんぐりだか分からなくなっちゃうよ。 ・どんぐりごまは、幼稚園生の時にもやっているよ。もっと楽しくなるようにルールを作った方がいいよ。 ・このルールだと幼稚園生にはわかりにくいよ。 </div>	<p>◎自分や友達のつくったおもちゃに関心を持ち、みんなで楽しく遊んだり、おもちゃのことを伝えあったりしようとしている。(行動・つぶやき)</p> <p>◎友達のおもちゃと自分のおもちゃを比較し、良さや改良する点に気付いている。(つぶやき・発言)</p>	<p>△友達の作ったおもちゃの良かったところに気付く。</p> <p>◎友達からのアドバイスを聞いて、自分のおもちゃをどう改良したらよいか考える。</p>
8. あきのおもちゃをパワーアップしよう	2 本時は1/2	<p>友達からもらったアドバイスをもとに、おもちゃの工夫点や遊びのルールについて話し合ったり、試したりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のどんぐりがどれだかわかるように印やもようをつけたらどうだろう。 ・坂にコースを作って、どのどんぐりが自分のどんぐりだかわかりやすくしよう。 ・どんぐりごまは、幼稚園生も回しやすいように大きいどんぐりをもっと用意しよう。 </div>	<p>◎園児と一緒に遊ぶことを考えて、アドバイスをもとに、おもちゃや遊びのルールについて話し合ったり、試したりしている。(行動・つぶやき・おもちゃ)</p>	<p>△アドバイスカードをもとに自分の考えを持って、話し合いに参加する。</p> <p>◎園児に分かりやすいようなルール説明の仕方を考える。</p>

9. あきのおもちゃランドをひらこう	3	<p>あきのおもちゃランドの準備をする。 園児と一緒に秋のおもちゃで楽しく遊ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園生は楽しんでくれるかな。 ・幼稚園生がゲームしやすいように、台をもっと低くしよう。 ・幼稚園生も楽しんでくれて、良かった。 </div>	<p>◎自分たちの作ったおもちゃで園児と一緒に楽しく遊ぼうとしている。(行動)</p>	<p>△教師の助言をもとに遊びに参加する。 ◎実際に遊ぶ中で、園児の実態にあわせて遊び方を改良する。</p>
10. これまでのがくしゅうをふりかえろう	1	<p>活動を振り返り、気付いたことをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの作ったおもちゃで幼稚園生が楽しんでくれてうれしかった。 ・ルールを説明する時に、幼稚園生が一生懸命聞いてくれてうれしかった。 </div>	<p>◎自分が園児と一緒に楽しく活動することを通して、自分自身の成長に気付いている。(発言・つぶやき・振り返り用紙)</p>	<p>△園児がどんな様子だったか振り返り、自分との関わりを思い起こす。 ◎自分自身の成長に気付き、今後の生活に活かす。</p>

7 本時の学習指導

(1) 目 標

秋のおもちゃで園児と楽しく遊べるように、おもちゃの作り方や遊び方を考え、話し合ったり、試したりする。

(2) 準 備

アドバイスボード、各グループで作成したおもちゃ、ルール説明ボード、工夫するのに必要な材料・道具

(3) 展 開

学習活動（時間）	支援及び留意点	評価及び評価後の指導・支援																
<p>1、本時のめあてをつかむ。 （5分） ○本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">あきのおもちゃパワーアップだいさくせん</div> <p>2、おもちゃや遊び方のルールを話し合ったり、試したりする。 （30分） 予想される児童の意見</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【アドバイス】</p> <p>転がして勝負するのはおもしろいけど、たくさんの人で転がしちゃうとどれが自分のどんぐりかわからなくなっちゃうよ。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりに印やもようをつけたらどうだろう。 ・坂にコースを作って、どのどんぐりが自分のどんぐりかわかりやすくしよう。 <p>【アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりごまは、幼稚園生の時にも作っているよ。もっと楽しくなるようにルールを作った方がいいよ。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりを回すだけでなく、たくさんどんぐりを用意しておいて、幼稚園生に選んでもらってはどうか。 ・ただ回っている時間を勝負するだけでなく、回す舞台（枠）を作っておいて、そこから出たら負けというのはどうか。 </div> <p>3、本時の振り返りをする。 （10分）</p>	<p>○前時にもらったアドバイスをグループごとに教師が確認していく。</p> <p>○他のグループののアドバイス事項を聞き、自分たちの活動に活かすようにする。</p> <p>○活動の見通しがもてるようにするために、本時の活動の流れと活動時間を掲示する。</p> <p>○話し合ったり、試したりしながら更に園児と楽しく遊ぶためにはどうしたらよいかを考えるように助言する。</p> <p>○教師が働きかける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <table border="0"> <tr><td>共感</td><td>そうだね</td></tr> <tr><td>賞賛</td><td>よくできたね</td></tr> <tr><td>納得</td><td>なるほど</td></tr> <tr><td>驚き</td><td>すごいね</td></tr> <tr><td>励まし</td><td>その調子</td></tr> <tr><td>揺さぶり</td><td>～でいいのかな</td></tr> <tr><td>示唆</td><td>～したらどうかな</td></tr> <tr><td>疑問</td><td>どうして～したの</td></tr> </table> </div> <p>○材料コーナー、道具コーナーをつくり児童が自分の判断で選び自由に使えるようにする。</p> <p>○話し合いが滞っているグループには、園児の遊びの様子や園児の作ったおもちゃ、園児が南小に来るにあたって心配していることを紹介し、児童の考えをさらに深める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①写真や作品等を提示し、園児たちがどんな遊びをしているのか紹介する。</p> <p>②園児がひらがなを読むのが難しいことを紹介する。</p> <p>③7月に行った小学校訪問での園児の楽しかったことや困ったことを紹介する。</p> </div> <p>○音楽が聴こえたら、活動をやめて集合するようにする。</p> <p>○工夫の前後での変化を紹介し、一人の気付きをみんなで共有できるようにする。</p> <p>○次時も引き続き活動することを伝える。</p>	共感	そうだね	賞賛	よくできたね	納得	なるほど	驚き	すごいね	励まし	その調子	揺さぶり	～でいいのかな	示唆	～したらどうかな	疑問	どうして～したの	<p>◎園児と一緒に遊ぶことを考えて、おもちゃや遊びのルールについて話し合ったり、試したりしている。（行動・つぶやき・おもちゃ）</p> <p>△アドバイスカードをもとに自分の考えを持って、話し合いに参加する。</p> <p>◎園児に分かりやすいようなルール説明の仕方も考える。</p>
共感	そうだね																	
賞賛	よくできたね																	
納得	なるほど																	
驚き	すごいね																	
励まし	その調子																	
揺さぶり	～でいいのかな																	
示唆	～したらどうかな																	
疑問	どうして～したの																	

生活科学学習指導案

平成23年12月2日(金) 第5校時(13:55~14:40)

玉村町立南小学校 2年 2組 指導者 新谷 優太(T1)

牛島 寛子(T2)

単元名 「あそびランドによろこそ」

授業の視点

おもちゃを作り直す場面で、「作るスペース」と「試すスペース」を近くに設けて関わり合う活動を生み出したことは、児童がおもちゃをよくしたいという思いや願いをふくらませておもちゃ作りをするために有効であったか。

2 単元の考察

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領学年の目標(4)「身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにする。」を受け、内容(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊ばしに使うものを工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気づき、みんなで遊びをたのしむことができるようにする。」(9)「自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。」に基づいて設定されたものである。

児童は一年生の時に、木の実や葉っぱなど身近な自然を使ってどんぐりゴマやけん玉などのおもちゃを作る体験や、二年生の作った「あそびランド」で遊ばせてもらう体験をしてきている。本単元では、はじめに風やゴム、バランスなどを使って動くおもちゃを考えさせ、そのしくみの面白さや不思議さに気付かせる。そして廃材等を使って動くおもちゃを作る活動を通して、遊びを作り出す楽しさに気付かせることにより、児童は自分と身近な材料との関わりに関心を持ち、自分たちの遊びや生活を工夫していく。さらに、友達との関わり合いの中で、気付いたことを伝え合って工夫を重ね、おもちゃを改良していく活動を通して、遊びを創る楽しさや自然の不思議さを実感しながら、身近な人と深く関わる楽しさを味わう。次に、おもちゃ作りをして楽しかった気もちや、友達と一緒に遊んで楽しかった気もちをもとに、グループでルールを決めて遊ぶ「あそびランド」を作っていく。ここでは、友達との関わりをさらに深め、みんなで相談して準備をし、一年生を招待して一緒に楽しく遊ぶ活動を通して、身近な材料に工夫を加えれば様々に利用できることや、大勢で遊ぶことの楽しさ、自分や友達の良さに気付くことができる。最後におもちゃ作りで気付いたことや遊びランドで遊んで楽しかったことなどを、友達に伝えたいという気持ちをもとに好きな表現の仕方で伝え合う活動を行う。

これらの学習を通して、児童が遊びを通して創造力を伸ばし、おもちゃ作りの楽しさや友達と協力することの良さに気づき、遊びや生活を楽しむことができるようになると考え、本単元を設定した。

(2) 系 統

特別活動・道徳との関連

活動の流れ

教科との関連

道徳

- 「わけっこしよう」2－(3)
 - ・友達と仲良くし、助け合う心をもって接する態度を育てる。
- 「やぶれた本」4－(1)
 - ・約束やきまりを守りみんなが使う物を大切にする態度を育てる。
- 「ぐるぐるまわれ」2－(2)
 - ・幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする態度を育てる。

学活

- 友達のよさを見つけよう
 - ・友達のよいところを見つけて伝え合う。
- 楽しい遠足にするために
 - ・楽しいオリエンテーリングにするために話し合いをする。
- なかよし集会をしよう
 - ・みんなで計画をたててお楽しみ会をする。

1年

- 「あそびにいこうよ」
 - ・はるのこうえん・はるのあそび
 - ・なつのこうえん・なつのあそび
 - ・あきのこうえん・あきのあそび
 - ・ふゆのこうえん・ふゆのあそび
 - ・むかしのあそび

2年

- あそびランドにようこそ
 - ・おもちゃであそぼう・おもちゃを考えよう
 - ・みんなで自分のおもちゃを作りあげよう
 - ・みんなであそんでみよう
 - ・おもちゃを作り直してあそぼう
 - ・「あそびランド」のけいかくをたてよう
 - ・「あそびランド」のせつけい図を書こう
 - ・楽しい「あそびランド」を作ろう
- ・一年生をしょうたいするじゅんびをしよう
 - ・「あそびランド」にようこそ
 - ・学しゅうのまとめをしよう

3年

理科

- 風のはたらき
- ゴムのはたらき
- ものの重さと体積

国語

- 「あったらいいなこんなもの」
 - 自分の考えを絵や文で書き、わかりやすい話し方で伝え合う。
- 「しかけカードの作り方」
 - ・「おもちゃの作り方」
- 説明の仕方を考え伝え合う。
- 「みんなで決めよう」
 - 進んでみんなで考えを出し合って決定する。

図工

- ゆらゆらうきうき
 - ・かみのテープを使って工夫してゆれるかざりを作る。
- 2本の糸でスイスイと
 - ・糸で動く仕組みを生かし、うごくおもちゃを作る。

(3) 児童生徒の実態 (男子12名 女子14名 計26名)

<生活への関心・意欲・態度>

児童は小学校1年生の生活科において、四季の変化を楽しみ、採集したドングリでドングリゴマを作ったり、サツマイモのつるでリースを作ったりといった経験を積んできている。また、このような経験を通して、自然を感じたり、物を手作りする楽しさを感じている。

本単元「あそびランドへようこそ」の学習を行うにあたっては、事前アンケートを行ったところ、「今までに自分でおもちゃを作ったことがある」という問いに対して全員が「はい」と答えている。この結果から、児童は幼稚園や保育所の頃から、はさみやのり、テープを使って空き箱や紙で簡単なおもちゃをつくる経験をしてきていると思われる。また、「今までにどんな道具を使っていますか？」という問いに対しては、全児童26名中で、キリが6名、金づちが9名、カッターが16名、千枚通しが4名という結果であった。使ったことの少ないキリ・金づち・千枚通しなどについての安全な使い方の指導が必要である。また、「今までに作ったおもちゃを絵や文で表しましょう」という投げ掛けに対しては、「ティッシュで作った寿司」「紙で作るお弁当」「プリンカップで作った人形」「段ボールと空き缶で作った動物」「新聞で作った剣」等、動きのないおもちゃの回答がほとんどであった。それに対して、「これから生活科でどんな動くおもちゃを作りたいですか？」(それぞれおもちゃの絵を提示して行った)という問いに対しては、「風や車輪で走る車」が10名、「バランスの力を利用したゆれるおもちゃ」が10名、「ゴムの力で動くおもちゃ」が15名と答えていた。この結果からは、今までに作ったことがないおもちゃを作りたいという児童の意欲がうかがえる。以上の事から、児童の興味は動きのない物から動きのある物へ、自然の事物や変化から自然の現象へと広がりつつあると考えることができる。

<活動や体験についての思考・表現>

児童はこれまで野菜作りや町たんけんを通して、発見したことや体験したことを絵や文章にまとめて、周りの人々に伝える活動を行ってきた。町たんけん発表会では発表を見ていた友達から「気づきカード」をもらい、児童はそこに書かれている良かった所や疑問から対象や自分への気づきを深め、さらに考えて、発表の仕方に工夫を加えていった。そこでは、クイズ、絵本、紙芝居など自分なりに工夫をこらして表現できた児童もいたが、あまり工夫できず友達をまねて表現した児童もいた。

「あそびランド」では、一人一人が自分のおもちゃ作りと向き合ったり、友達と交流しながら遊んだりする過程での、「関わる・作る・試す」活動が繰り返されていく。そのような活動の中で、児童が自分の思いや願いをふくらませて、深く考えおもちゃ作りに生かしていけるとと思われる。さらに工夫カードに自分の思いや願い、おもちゃ作りの工夫(気づき)を書いていくことで、思考が明確になり、表現に生かされると考えられる。また、児童は国語の学習において、理由をしっかりと述べて文章に表す学習や、自分が考えた「物」を相手にわかるように説明する学習、友達の話をよく聞いて感想や質問をする学習を積んできている。これらの学習の成果がおもちゃ作りの友達との関わりに反映されることが期待される。

<身近な環境や自分についての気づき>

児童は、幼稚園や保育園の段階で、遊びに使う物を自分で工夫して作るという経験を積んできている。例えば、広告や新聞を細く丸めていきテープで留めて作った剣、いらない茶筒やお菓子の箱、を利用して作った銃や人形等が挙げられる。児童はこれらを作る過程の中で、「ぐにゃぐにゃじゃなくてもっと硬くて強い剣が作りたいんだ」「もっと壊れにくいものを作りたいな」という願いをもって、作り方を試行錯誤してきたと思われる。また、その願いは「テープをピンと張ってつけると丈夫になるぞ」「ぐるぐる巻きにすれば壊れにくくなるよ」といった気づきへと発展してきたと考えられる。

小学校に入学し、1年生の生活科では秋の公園に出掛け、落ち葉やドングリを拾ったり、それを利用した簡単なおもちゃを作ったりしてきた。その中で児童は、「秋には葉っぱの色が変わって、木の実がなるんだな」といった身近な自然の変化に関する気づきや、「どんな形のドングリゴマが一番良く回るのかな」「秋には芋のつるでリースがつくれるよ」といった身近な自然の事物と関連し、自然の事物を利用した遊びや工作を行う中で、さまざまな気づきを積んできている。

しかし、おもちゃ作りの中で空気の動きやゴムの力、バランス等の現象と出会ったことは多いとは言えず、おもちゃが自分で力を加えなくても動く不思議さや自然現象の中に決まりがあるという不思議さ、うまくおもちゃを動かすための工夫に気づくまでには至っていない。また、仲の良い友達と遊ぶことはできて遊びの集団は限られていることが多く、年齢の違う子どもや大勢で遊ぶことの楽しさに気づいていない状況である。

3 目標

身近にある材料を利用して、友達と関わりながら動くおもちゃを作り、グループで作ったおもちゃランドで遊ぶ活動を通して、おもちゃ作りの楽しさや友達と協力することの良さに気づき、遊びや生活を楽しむことができるようにする。

4 評価規準

生活科への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
・身近な材料を使って動くおもちゃを作ったり、みんなで楽しく遊んだりしようとしている。	・身近な材料から作るおもちゃを考えたり、作り方を工夫したりしている。 ・みんなで楽しく遊べるように遊びの約束やルールを考えている。 ・遊びを通して気付いたことや楽しかったことを、自分なりに伝えたり表現したりしている。	・おもちゃが自分で力を加えなくても動くという不思議さ、自然現象の中に決まりがあるという不思議さに気づいている。 ・うまくおもちゃを動かすための工夫に気づいている。 ・友達や自分の良さやみんなでルールを守って遊ぶことの楽しさに気づいている。

5 指導方針

<設計図を書いたり話し合ったりする場面>

・「せっけい図」や「くふうカード」には、おもちゃ作りへの思いや願い、また、もっとよくするための気づきを記入することにより、おもちゃ作りへの思いや願いを持ち続けて活動できるようにする。

<おもちゃを作ったり試したりする場面>

・活動スペースは「作るスペース」と「試すスペース」を近くに設けることにより、「関わる・作る・試す」の活動を生み出し、おもちゃをよくしたいという思いを実現できるようにする。

・時間的なゆとりと活動スペースを十分に確保することで児童が遊びに没頭し、自由に発想を広げ試行錯誤して作ったり遊んだりできるようにする。

・おもちゃを作り直して遊ぶ単元では、2つの教室を使うことにより、活動スペースを十分に確保できるようにする。

・2つの教室を使う学習は、安全の確保と児童への言葉掛けや見取りを十分に行うためにTTで取り組む。

・道具の安全で正しい使い方や、置き場所等のルールを徹底することで、児童の安全を確保する。

・おもちゃを作る小グループは、同じ仕組み（ゴム・風・バランス）を使う者同士で組むことにより、友達同士で知恵を出し合えるようにする。

・同じ教室内に違う仕組みを使ったおもちゃを作るグループを配置し、おもちゃ作りの発想が広がるようにする。

・おもちゃを交換して遊ぶ場面を設けることにより、おもちゃをよくしたいという思いをふくらませ、友達同士で学び合い気づきを深めていく事ができるようにする。

<振り返る場面>

・各単元の振り返る場面では、1人1回は友達との関わりや自分の工夫したことを、おもちゃを見せて発表することにより、自分自身を見つめ自分の頑張ったことやできるようになったことに気づけるようにする。

6 指導と評価の計画（全20時間予定：本時はその7時間目）

小单元名		配当時間	学習活動	具体的評価規準 (評価方法)	△補充的な学習 ◎発展的な学習
1. う ごくお もちゃ	1 おもち やであそ ぼう・お もちゃを 考えよう	2	<p>手作りおもちゃであそんで楽しかったことを思い出したり、試作おもちゃで遊んだりして、風やゴムやバランス等を利用したおもちゃを考えて「せつけい図」に書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「わーおもしろい」 「なんでうごくんだろう」 「いいなあ、ほしいなあ」 「作ってみたいなあ」 「ぼくは風でうごくおもちゃを作りたいなあ」</p> </div>	<p>(関) 動くおもちゃに関心を持ち、それらを使って楽しく遊ぼうとしている。</p> <p>(行動)</p> <p>(気) 身近な材料の特性や動く仕組みなどについて気づいている。</p> <p>(設計図・発言)</p>	<p>△一緒に遊ぶ中で仕組みのおもしろさに気づかせ、作りたいおもちゃを考える。</p> <p>◎自分の考えたおもちゃをさらによくするためにはどうしたらよいか考える。</p>
	2 みんな で自分の おもちゃ を作りあ げよう	2	<p>作りたいおもちゃの設計図やイメージに沿って材料を選び、動くおもちゃを作ったり遊んだりする。グループの中で困っている事を相談し合い、知恵を出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「うまくいかないなあ」 「どうすればいいのかな」 「やった！できた！でもうまくうごかない・・・」 「かしてごらん。てつだってあげるよ」</p> </div>	<p>(思) 身近な材料の中から使いたいものを選び、工夫しながらおもちゃを作っている。</p> <p>(行動・おもちゃ)</p>	<p>△どんなおもちゃを作りたいのか見取ったり言語化したりして、手順を明確にする。</p> <p>◎おもちゃの強度を増したり仕上がりをきれいにしたりするなどの工夫をする。</p>

<p>3 みんな であそん でみよう</p>	<p>2</p>	<p>友達に遊び方を伝えてお互いのおもちゃで遊び合う。さらに楽しく遊べるものにするための知恵を出し合う。友達からの知恵や、自分で気づいたアイデアを「くふうカード」に書いていく。</p> <div data-bbox="512 618 831 958" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「わぁ、おもしろいな」 「ここをかえればもっととぶよ」 「ぼくなら羽をつけるな」 「タイヤが動かないんだよ」 「ここをこう変えればもっと動くよ」</p> </div>	<p>(関) 自分や友達の作ったおもちゃに関心をもち、みんなで楽しく遊んだり気づいたことを伝え合ったりしている。</p> <p>(行動・発言)</p> <p>(気) 友達のおもちゃと自分のおもちゃを比較し、良さや改良する点に気づいている。</p> <p>(工夫カード・発言)</p>	<p>△友達のおもちゃで遊び、友達の作ったおもちゃの良かったところに気づく。</p> <p>◎友達からの「くふうカード」を見て自分のおもちゃをどう改良したらよいか考える。</p>
<p>4 おもちゃを作り直してあそぼう</p>	<p>3 本時は 1/3</p>	<p>「くふうカード」に書かれた思いや困ったこと、気付いた工夫を発表する。思いや気づきを基に、もっと楽しく遊べるおもちゃに作り直したり、試したりする。グループごとにルールを決めて楽しく遊ぶ。</p> <div data-bbox="512 1480 831 2002" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「もっととおくまでとばしたいけど、うまくいかないんだ」 「今日はここをこうかえるんだったな」 「ぼくも〇〇君と同じだ。ゴムを変えてみよう」 「やったーできた！とおくまでとんだよ！」 「もっと大きいのを作ってみたいな」</p> </div>	<p>(思) 「くふうカード」や友だちとの関わり合いをもとにさらに楽しく遊べるおもちゃを目指して工夫したり、試したりしている。</p> <p>(行動・発言・おもちゃ)</p>	<p>△「くふうカード」を基に自分の考えをもたせ、友達の工夫も参考にする。</p> <p>◎友達と遊ぶときの場所やルールをさらに工夫したりする。</p>

2. あそびランドのじゅんび	5 「あそびランド」のけいかくをたてよう	1	<p>みんなで遊びたい気持ちをもとに、どんな「あそびランド」を作りたいか思いを話し合っって計画を立てる。作りたいものが同じ友達同士でグループを作る。</p> <div data-bbox="507 564 836 958" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「みんなでレースをしよう」 「得点を決めて競争すると楽しいよ」 「もっと広いところでやりたいな」 「おぼけやしきを作りたいな」 「ボウリングもいいね」</p> </div>	<p>(関) 友達と協力して「あそびランド」の準備を進めようとしている。</p> <p>(行動・発言)</p>	<p>△おもちゃ遊びの楽しかったことなどを思い出し、作りたいものをイメージ化する。</p> <p>◎「あそびランド」をさらにおもしろくするにはどうしたらよいか考える。</p>
	6 「あそびランド」のせつけい図を書こう	1	<p>グループごとに「あそびランド」で作るもの、材料等について話し合い、設計図を書く。</p> <div data-bbox="507 1272 836 1612" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「広い場所が必要だよ」 「大きい段ボールがほしいな」 「あそこのスーパーに段ボールがあるよ。もらいにいこうかな」 「早くつくりたいなあ」</p> </div>	<p>(思) 友達と相談しながら「あそびランド」の計画を考えている。</p> <p>(行動・設計図)</p>	<p>△場所や材料、材料の集め方など、話し合いのポイントを確認して考える。</p> <p>◎使う道具や材料集めの分担などさらに詳しい内容についても考える。</p>

	7 楽しい 「あそび ランド」 を作ろう	4	<p>協力して集めた材料を使 ってグループで力を合わ せて「あそびランド」を 作って遊ぶ。</p> <div data-bbox="515 427 831 976" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「色をぬってきれいにしよ う」 「だれでも一点はとれるよ うにしよう」 「もっと大きいとおもしろ いだろうなあ」 「一年生の時に招待された あそびランドは楽しかった なあ」 「こんどは僕たちが一年生 をよびたいな」</p> </div>	<p>(関) 友達と協力し、 進んで「あそびラン ド」作りに取り組もう としている。</p> <p>(行動)</p> <p>(気) 身近な材料でも 工夫すれば様々に利 用できることに気づ いている。</p> <p>(設計図・行動)</p>	<p>△自分の役割に気付 き、楽しく取り組める ようにする。</p> <p>◎さらに丈夫にした り、楽しく遊べたりす る工夫も考える。</p>
3. あ そびラ ンドに ようこ そ	8 一年生 をしょう たいす るじゅん びをしょう	1	<p>自分達が招待されて楽し かった思いをもとに、一 年生がわかりやすいよう に工夫して招待状を書 く。一年生が楽しく遊べ るように工夫して会場の 準備をする。</p> <div data-bbox="515 1514 831 1805" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「会場をきれいにかざろう かな」 「一年生が読めるようにひ らがなできれいに書こう」 「賞品をあげるときっと喜 ぶよ」</p> </div>	<p>(思) 一年生が楽しく 遊べるように考えて 招待状や遊び方のル ールを工夫し、会場を 準備している。</p> <p>(招待状・あそびラン ド・行動)</p>	<p>△自分が一年生だっ たときのことを思い出 し、一年生の立場に立 って考える。</p> <p>◎一年生が喜んでくれ そうな飾り付け等細か なことも工夫する。</p>

<p>9 あそびランドにようこそ</p>	<p>2</p>	<p>招待した一年生に遊びを紹介して一緒に楽しく遊ぶ。みんなが楽しめるように遊び方を工夫する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「やり方を教えてあげるね」 「むずかしそうだな。ルールをかえよう」 「一年生うれしそうだなあ。やってよかったな。」</p> </div>	<p>(関) 招待した一年生と積極的に楽しく遊ぼうとしている。 (行動) (思) みんなに楽しんでもらえるようにルールを考えたり、説明したりしている。 (行動・発言)</p>	<p>△一年生と一緒に遊べない児童には声のかけ方を助言し、行動できるようにする。 ◎遊びの中で一年生の実態に合わせて遊び方を改良する。</p>
<p>10 学しゅうのまとめをしよう</p>	<p>2</p>	<p>活動を振り返り、工夫したことや楽しかったことを絵や文など好きな方法で表現し、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「たのしかったな」 「一年生の前でドキドキしたけどやってよかったな」</p> </div>	<p>(気) おもちゃ作りの楽しさや、友達や自分の良さ、友達と関わって遊ぶことの楽しさに気づいている。 (絵や文など) (思) 「あそびランド」の学習を通して気付いたことや楽しかったことなどを自分なりに考え表現している。 (発表・絵や文)</p>	<p>△自分が作ったおもちゃや一年生との関わりを思い起こす。 ◎自分の成長に気づき、今後の生活に生かせるようにする。</p>

7 本時の学習指導

(1) 目 標

「くふうカード」や友達との関わり合いをもとに、さらに楽しく遊べるおもちゃにするために、作り直したり試したりする。

(2) 準 備

- ・おもちゃ作りの材料
- ・「くふうカード」
- ・道具（はさみ、のり、テープ、千枚通し、段ボールカッター等）

(3) 展 開

学習活動（場所・時間）	支援及び留意点		評価及び評価後の指導・支援
<p>1. 本時のめあてをつかむ。 （2の2教室 10分）</p> <p>○本時の活動のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>もっとたのしくあそべるおもちゃにしよう！</p> </div> <p>○くふうカードに書かれた思いや困ったこと、気付いた工夫を発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・「もっと遠くまでとぶようにしたいので、○○ちゃんみたいにゴムをかえてみたいです」</p> <p>・「タイヤがすぐとれちゃうので○○君みたいにガムテープを使おうかな」</p> </div>	<p>< T 1 ></p> <p>○前時に記入した「くふうカード」をもとに、自分の思いや気付いた工夫を発表できるようにする。</p> <p>○意図的に指名するようにすることで、工夫の仕方の気づきが浅い児童や気付いていない児童が、友達の発表を聞いて、自分の活動に生かしていけるようにする。</p>	<p>< T 2 ></p> <p>○机間支援を行い、全員が集中して発表したり聞いたりできるようにする。</p>	
<p>2. 「くふうカード」や友達の工夫の仕方を見たり聞いたりして、関わり合いながらおもちゃを作り直したり試したりする。 （生活科準備室・2の2教室 25分）</p>	<p>< T 1 > < T 2 ></p> <p>○2つの教室を使い、スペースを十分に取ることでじっくり活動できるようにする。</p> <p>○作るスペースと試すスペースを近くに設けることで、「関わる・作る・試す」の活動を生み出し、おも</p>		<p>< 思考・表現 ></p> <p>「くふうカード」や友だちとの関わり合いをもとにさらに楽しく遊べるおもちゃを目指して工夫したり、試したりしている。</p> <p>（行動・発言・おもちゃ）</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・「やったあ！できた。遠くまでとんだよ」 ・「まだだめか。もう一度作り直そう」 ・「〇〇ちゃん、ちょっと手伝ってよ！」 ・「あんな風にするのか。まねしてみようかな。」 ・「坂がもっと急だったら面白いのになあ」 ・「あそこまでとんだら何点とか、得点をつけたらおもしろいかなあ」 	<p>ちやをよくしたいという児童の思いを実現できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道具置き場、材料置き場を設け、使ったものは元の場所に戻せるようにする。 ○完成して目標を見失ってしまった児童には、さらに改良したくなるような場の提示や言葉掛けを行う。 ○児童への言葉掛けをすることで、児童の気付きや関わりを高めていけるようにする。 ○友達と深く関わり、工夫や改良をしている児童を見取る。 ○児童は、14時30分までには、2の2の教室に戻れるようにする。 	<p>△「くふうカード」をもとに自分の考えを確認したり、友達の工夫を参考にしたりする。</p> <p>◎友達と遊ぶときの場所やルールをさらに工夫する。</p>	
<p>3. 本時の振り返りをする。 (2の2 10分)</p> <p>○友達と関わって、工夫や改良をしてみて感じたこと思ったことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇君に言われた通りにゴムを太いのかえてみたら、遠くまでとんだのでよかったです。」 ・「〇〇ちゃんに手伝ってもらったら、まっすぐ進んでよかったな。」 </div>	<p>< T 1 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達との関わりや、自分の工夫した事を振り返って発表できるようにする。 ○自分のおもちゃを手に持って発表させることで、自分の思いや工夫を伝えられるようにする。 ○次時も引き続き活動することを伝える。 	<p>< T 2 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○発表を聞く児童が床に置いたおもちゃに気をとられることなく、集中して話しが聞けるように支援する。 	

